

本日は、二十歳を迎える私たちの門出に対し、このような素晴らしい式典を催していただき、誠にありがとうございます。

今日という日を迎えられたのは、今まで私たちを育ててくれた家族はもちろん、お世話になった先生方や地域の皆様、幾度もの壁を乗り越えてきた友人そして大親友たちのおかげです。心より感謝申し上げます。

共に分かり合って、重なり合ってきた友人たちとこの生まれ育った変わらぬ景色であり続けてくれる桑名でこうして集うことができましたことを嬉しく思います。

アピタのスーパーでお菓子を買いつめて嬉しすぎてスキップしていた僕はいつのまにか二十歳になり、二十歳のついで代表として喋る立場になってしまいました。

なんだか、早いような遅いような悲しいような嬉しいような様々な感情が一気に押し寄せてきて、今私の心の中は大渋滞しています。

この場にも、そのような気持ちになっている方は、たくさんいらっしゃると思いますが、私達なら大人の階段の一步を踏み出す事ぐらい難なくできると思います。

私達の青春時代には必ずコロナが付き纏っていました。

行動が制限され、外に出ることさえ許されない時期もありました。コロナがなければ、もっとたくさんのお話をできたと思います。私達が過ごしてきた青春に文句は出てくるかもしれませんが後悔はありません。

私達は私達なりに工夫をして楽しんできました。

コロナ禍の間の出来事は鮮明に思い出す事ができます。自分たちで考えながら様々な事を行ってきたからでしょう。

私達は先輩方が過ごしてきた青春とは違った青春を過ごすことにより、失った事もありませんが、たくさんのお話をし、普通の青春では得られないものを得ることができました。工夫しながら物事を進める力、恐ろしいものに協力して立ち向かい打ち勝つ力、パンデミックに耐えうる忍耐力など、たくさんのお力を手に入れました。

大人になれば、コロナよりも手強い上司や先輩がいるかもしれません。

しかし、この困難を乗り越え、力をつけた私達ならきっと大人になってからの波乱な時代も乗り越えていけるはずですよ。

今まで私達は両親、地域の方々、先生方などたくさんのお大人の方々に支えられてきました。次は、私たちが今まで支えてくれた方々に恩返しをして、活躍していく番ですよ。

私達は更に躍進し、壁にぶつかって倒れたとしても立ち上がり乗り越えていきます。